



校報 あずまね

2026・7・22 第5号

主体的に学ぶ生徒
奉仕の心を持つ生徒
健康で活力ある生徒

文責：紫波町立紫波第三中学校 校長 法貴 裕誠

令和8年度 紫波西学園 紫波町立紫波第三中学校 まなびフェスト

学校はよりよく生きる力を身につけるところです。

気づき考え実行する経験を重ね、将来みんなと一緒に幸せな社会を創る力を育みます。

紫波西学園 教育目標 **自ら未来を切り拓いていく人間の育成**

紫波第三中学校 教育目標

知 主体的に学ぶ生徒	徳 奉仕の心を持つ生徒	体 健康で活力のある生徒
授業がわかる・できる・楽しさを感じる生徒 家庭学習習慣を身につけた生徒	明るく元気な挨拶をする生徒 自ら進んで掃除をする生徒	毎日元気に活動する生徒 規則正しい生活を送る生徒

学校経営の重点

確かな学力の定着	豊かな人間性の育成	健やかな心身の育成
伝え合う授業：気づいたことを伝え合う 響き合う授業：課題解決のアイデアを考え試す 高め合う授業：学びの成果や課題を批評し合う	人の嫌がることをしない・させない 相手の立場に立って考え行動する 互いに支え合い 励まし合い 鍛え合う	基本的な生活習慣を身につける 運動に親しみ体力の向上に努める 目標に向かって挑戦と努力を続ける

紫波町西学園 小中一貫教育 目標

『ふるさとの未来創造的な学び』を実現する児童生徒の育成

紫波第三中学校 小中一貫教育の重点

カリキュラム・マネジメント		ふるさと学習		
安心感(セーフティ)のある集団づくり 主体的・対話的で深い学びの実現 ふるさと学習を核にした 9 年間の学びづくり 1 人 1 台端末の効果的な活用 基本的な生活・学習・読書習慣の確立		大人との対話を重ねてふるさとを支える人々の生き方から学ぶ 1 学年：地域で働く人や仕事の魅力を探る 2 学年：働くことの目的や意義を探る 3 学年：自分と社会の将来像を探る 探求学習の成果を授業参観日にプレゼンテーションする		
コミュニティスクール				
熟議で学校や地域の課題を共有する	協働で学校や地域の課題を解決する	学校の学びをみんなで支える	教え学び共に育つ学校をつくる	人・町・未来の夢をみんな育てる

子どもの成長を支える家庭教育

家庭は成長と生活と人生の基盤です。

家族に守られ愛され認められて自立の足場を固め、これからの人生を幸せに生きていく力を育みます。

挨拶	手伝い	時間	準備	自己決定
挨拶を交わしましょう。それは社会生活の基本です。	手伝いをさせましょう。それは将来の就労につながります。	時間を守らせましょう。それは信用を守ることにつながります。	よい準備をさせましょう。結果の善し悪しは準備で決まります。	自己決定をさせましょう。それは将来の自立につながります。

■ 指導方針:自分で決めたことを成し遂げさせ、他者に認められる経験をさせて、心の発達を保証する。

(1) 自己効力感（できると自分を信じられる力）を高める。

(2) 自己肯定感（できてもできなくても、ありのままの自分を受け入れられる力）を育てる。